

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: アセト酢酸エチル

製品番号(SDS NO): D002170-1

供給者情報詳細

供給者: 国産化学株式会社

住所: 東京都中央区日本橋本町3丁目1番3号

担当部署: 品質保証部

電話番号: 045-328-1715

FAX: 045-328-1716

e-mail address: cs@kokusan-chem.co.jp

緊急連絡先: 国産化学株式会社 横浜事業所 神奈川県横浜市西区北幸2-8-29

## 2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 2B

(注)記載なきGHS分類区分: 該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素

絵表示なし

注意喚起語: 警告

危険有害性情報

眼刺激

注意書き

安全対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

応急措置

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は

外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

## 3. 組成及び成分情報

混合物/単一化学物質の選択:

化学物質

化学的特定名: アセト酢酸エチル

慣用名、別名: 3-オキシブタン酸エチル、1-エトキシブタン-1,3-ジオン

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号	化学式
アセト酢酸エチル	-	141-97-9	2-1475	C6H10O3

## 4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

吸入:咳、咽頭痛。

皮膚:発赤。

眼:発赤、痛み。

応急措置をする者の保護

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

適切な換気を確保する。

## 5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

特有の危険有害性

70°C以上では、蒸気/空気の爆発性混合気体を生じることがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

霧状水により容器を冷却する。

消火を行う者の保護

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

着火源を取除くとともに換気を行う。

環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏れた液やこぼれた液を密閉式の容器に出来る限り集める。

残留液を砂または不活性吸収剤に吸収させて安全な場所に移す。

残留分を多量の水で洗い流す。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

**(火災・爆発の防止)**

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙。  
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。  
静電気放電に対する予防措置を講ずること。

**注意事項**

皮膚に触れないようにする。  
眼に入らないようにする。

**安全取扱注意事項**

指定された個人用保護具を使用すること。  
取扱い後は手、汚染個所をよく洗う。  
取扱中は飲食、喫煙してはならない。

**配合禁忌等、安全な保管条件****適切な保管条件**

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
涼しいところに置き、日光から遮断すること。

**8. ばく露防止及び保護措置****管理指標**

管理濃度データなし

**ばく露防止****設備対策**

適切な換気のある場所で取扱う。  
洗眼設備を設ける。  
手洗い/洗顔設備を設ける。

**保護具****呼吸用保護具**

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

**手の保護具**

保護手袋を着用する。

**眼の保護具**

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

**衛生対策**

眼、皮膚、衣類につけないこと。  
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。  
取扱い後はよく手を洗う。

**9. 物理的及び化学的性質**

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

**物理的状态**

形状：液体  
色：無色  
臭い：特有臭

**物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲**

初留点/沸点：180.8℃  
融点/凝固点：-45℃  
引火点：(アセト酢酸エチル)70℃  
自然発火温度：295℃

**爆発特性：引火又は爆発範囲**

下限：1vol %  
上限：54vol %

蒸気圧：0.1 kPa (20℃)

相対蒸気密度(空気=1)：4.48

比重/密度: 1.021

溶解度

水に対する溶解度: 2.86 g/100 ml (20°C)

n-オクタノール/水分配係数: log Pow0.27

## 10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

強酸化剤と反応する。

避けるべき条件

火源、熱、混触危険物質との接触。

混触危険物質

強酸化性物質

危険有害な分解生成物

炭素酸化物

## 11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

ラットLD50値; 3980 mg/kg bw、12300 mg/kg bw(雄)および10800 mg/kg bw(雌)(いずれもEU-RAR 13(2002))に基づき、分類JISによる分類基準の区分外(国連GHSによる分類基準の区分5または区分外に相当)とした。

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

ウサギLD50値; >10,300 mg/kg bw(EU-RAR 13(2002))に基づき、区分外とした。

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]

(蒸気)ラットの飽和蒸気圧濃度(5.46 mg/L/8h = 7.72 mg/L/4h)で死亡なしと報告されている(EU-RAR 13(2002))が、この結果からでは区分を特定できないので分類できない。

(ミスト)ラットLC50値; >8.99 mg/L/4時間(IUCLID(2000))に基づき、分類JISによる分類基準の区分外(国連GHSによる分類基準の区分5)とした。なお、ばく露濃度(5.995 mg/L/8時間)は飽和蒸気圧濃度(5.46mg/L)を超えるのでミストとみなした。

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]

ウサギの皮膚に試験物質0.5 mLを4時間適用した試験(OECD TG 404; GLP)で刺激性なし(not irritating)との結果(EU-RAR 13(2002)、IUCLID(2000))に基づき、区分外とした。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

ウサギに試験物質0.1 mLを適用した試験(OECD TG 405; GLP)で角膜には影響なく、結膜に中等度の刺激性と虹彩に軽度の刺激性が認められたが2~3日後に回復し、軽度の刺激性(slightly irritating)との結果(EU-RAR 13(2002)、IUCLID(2000))に基づき、区分2Bとした。

感作性

皮膚感作性

[日本公表根拠データ]

26人のボランティアによる皮膚感作性試験(maximization test)において惹起処理後に陽性反応は認められず(EU-RAR 13(2002))、また、モルモットを用いた皮膚感作性試験(maximization test)において感作性を示さなかった(IUCLID(2000))と報告されている。しかし、前者のヒトの試験では得られた情報は試験の摘要のみで、評価書中の結論にもヒトで確かなデータは得られていない(EU-RAR 1

3(2002))との記載があり、一方、後者のモルモットの試験はList 2のデータである。したがって、ヒトおよび動物の情報とも不十分なため「分類できない」とした。

#### 生殖細胞変異原性

[日本公表根拠データ]

in vivoの試験データがないので分類できない。なお、in vitroではエームテストで陰性(JECFA 974 (2000)、(EU-RAR 13(2002))、チャイニーズハムスターの肺細胞(CHL)ならびにV79細胞を用いた染色体異常試験でいずれも陰性(EU-RAR 13(2002))が報告されている。

#### 発がん性データなし

#### 生殖毒性

[日本公表根拠データ]

ラットを用いた経口投与による生殖発生毒性スクリーニング試験(OECD TG 421: GLP)において、性機能および生殖能に対する悪影響の報告はされていないが、最高用量1000 mg/kg/dayでは対照群に比べ着床数の減少に関連する出生仔数の僅かな減少、着床後胚損失率の増加、平均出生率と生存出生率の減少

が軽度ながら認められたが、毒性学的意義はないと考えられ、かつ、着床前および着床後胚損失率の程度、胎仔の出生指標はいずれも背景データの範囲内におさまるものであり、ばく露に関連する変化ではないと考えられた(EU-RAR 13(2002))。しかし、催奇形性を含む仔の発生に及ぼす影響に関してはデータ不十分なため、「分類できない」とした。

#### 特定標的臓器毒性(単回/反復 ばく露)データなし

#### 吸引性呼吸器有害性データなし

### 12. 環境影響情報

#### 生態毒性

#### 水生毒性

##### 水生毒性(急性)成分データ

[日本公表根拠データ]

魚類、甲殻類、藻類での急性毒性試験において、LC50及びEC50が全て100 mg/Lを超えていることから(EU-RAR, 2001)、区分外とした。

##### 水生毒性(長期間)成分データ

[日本公表根拠データ]

急性毒性区分外であり、難水溶性ではない(水容溶解度 = 110 g/L(PHYSPROP Database, 2011))ことから、区分外とした。

#### 水溶解度

11 g/100 ml (PHYSPROP Database, 2011)

#### 残留性・分解性データなし

#### 生体蓄積性

log Pow=0.27 (ICSC, 2000)

#### 土壌中の移動性データなし

#### オゾン層破壊物質データなし

### 13. 廃棄上の注意

#### 廃棄物の処理方法

廃棄の前に可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行なって危険有害性のレベルを低い状態にする。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。

#### 汚染容器及び包装

容器は清浄して関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する事。

### 14. 輸送上の注意

#### 国連番号、国連分類

国連番号に該当しない

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード  
有害液体物質(Z類)  
アセト酢酸エチル

#### 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令  
毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機溶剤等に該当しない製品

労働安全衛生法に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法

第4類 引火性液体第3石油類非水溶性 危険等級 III(指定数量 2,000L)

化審法に該当しない。

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

適用法規情報

海洋汚染防止法: 有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)

特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法): 廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの(平10三省告示1号)

輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」

輸出貿易管理令別表第2(輸出の承認)

#### 16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN  
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 19th edit., 2015 UN  
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)  
2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2017 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

JIS Z 7252 (2014年)

2016 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。